

# はじめに

獣医学教育モデル・コア・カリキュラムは獣医学教育の質保証の目的で策定されたものである。臨床獣医学教育分野では、これまでの獣医内科学、獣医外科学といった診療科目別の分類ではなく、総論と臓器別の各論に加えて、産業動物臨床学や馬臨床学という動物種別の概念が取り入れられた。「産業動物臨床学」の目標は「産業動物臨床の基本事項と特性、産業動物における各種疾患の病態、原因、診断法および治療法を理解し、疾病予防と生産性の向上に必要な予防法について学ぶ」ことであり、内科や外科といった診療科の枠を超え、感染症や衛生学の内容も含めて学ぶ必要がある。

いっぽう、各大学で実施されている現行の授業カリキュラムは、必ずしもモデル・コア・カリキュラムと一致するものではない。このため、「産業動物臨床学」という科目をカリキュラムの中に設置している大学は多くはなく、内科学や外科学の一部として産業動物の疾患に関する講義が進められているのが現状であろう。このような状況の中、いよいよ平成 29 年度からは共用試験が実施される予定であり、各大学においてはモデル・コア・カリキュラムに準拠した学習が必須となっているが、産業動物臨床教育に係る教員が全国的にまだ不足している現状においては、各大学における産業動物教育の内容と質のばらつきが危惧されている。

本教科書では産業動物の疾患を科目を超えて横断的に網羅しており、また最低限理解しておくべき項目を厳選して、各種疾患の基礎から病態、原因、診断法、治療法、予防法について記載している。各大学の先生方においては、本教科書を活用して、学内での科目間の連絡を密にすることで、産業動物臨床学教育の質の向上に努力していただきたい。また、本教科書を利用する学生の皆様においては、産業動物臨床学の導入として利用していただき、疾患を広く理解するとともに、さらなるアドバンスト学習の基礎として役立ててほしい。

平成 28 年 10 月  
著者を代表して  
**猪熊 壽**